

事業実施の目的・必要性

自家用車の普及や少子化による通学者の減少等により、バス利用者も年々減少しており、郊外路線に対する市の費用負担も増加傾向にある。

このため、「稚内市地域公共交通網形成計画」を策定し、まちづくりと一体となった持続可能な交通ネットワークの構築に向け取組みを進めているところである。

「天北地区、恵北・増幌地区」において、地域間幹線系統と接続した予約型乗合タクシーを運行し、地域住民の生活交通を確保するとともに、持続可能な交通ネットワークの構築に努める。

生活交通確保維持改善計画の目標

■天北地区、恵北・増幌地区

【目標：利用者の維持・増加及び収支率の増加を目指す】

- ・利用者平均630人/月(R2. 4~R3. 3実績:629人/月)
- ・収支率10%以上(R1. 10~R2. 9実績:7.04%)

令和4年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナルまで

【市街地方面行き:5便 天北方面行き:4便】

利用料金	潮見5まで 《区間1》	南駅前まで 《区間2》	稚内駅前Tまで 《区間3》
【区域1】恵北・増幌	200円	300円	400円
【区域2】樺岡・上声間	400円	500円	600円
【区域3】沼川・川西・曙・川南・開進・豊別・天興・曲淵	500円	600円	700円

地域公共交通の現況

- 稚内空港(羽田便・新千歳便)
- JR宗谷本線(稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅)
- 宗谷バス(株)(市内路線:8路線、広域路線:1路線、都市間バス:1路線等)
- ハートランドフェリー(株)(利尻・礼文航路)
- タクシー事業者2社(稚内日の丸交通・北都ハイヤー)
- スクールバス(6地域)

協議会開催状況

- 令和3年度第3回協議会R4年3月29日開催
 - ・生活交通改善事業計画「バリアフリー化設備等整備」(案)
- 令和4年度第1回協議会R4年5月24日開催
 - ・令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)
 - ・稚内市地域公共交通網形成計画に係る達成状況の評価
 - ・地域に即した持続可能な交通網の形成について
- 令和4年度第2回協議会R5年1月18日開催
 - ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)
 - ・地域に即した持続可能な交通網の検討状況について

令和4年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

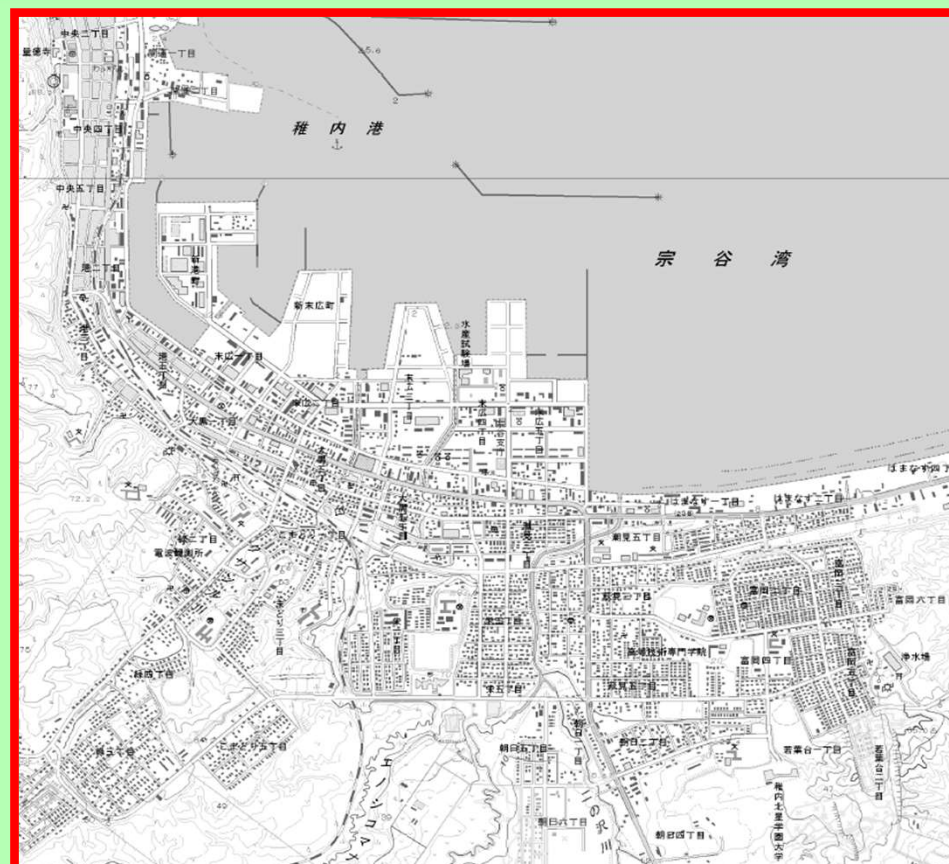
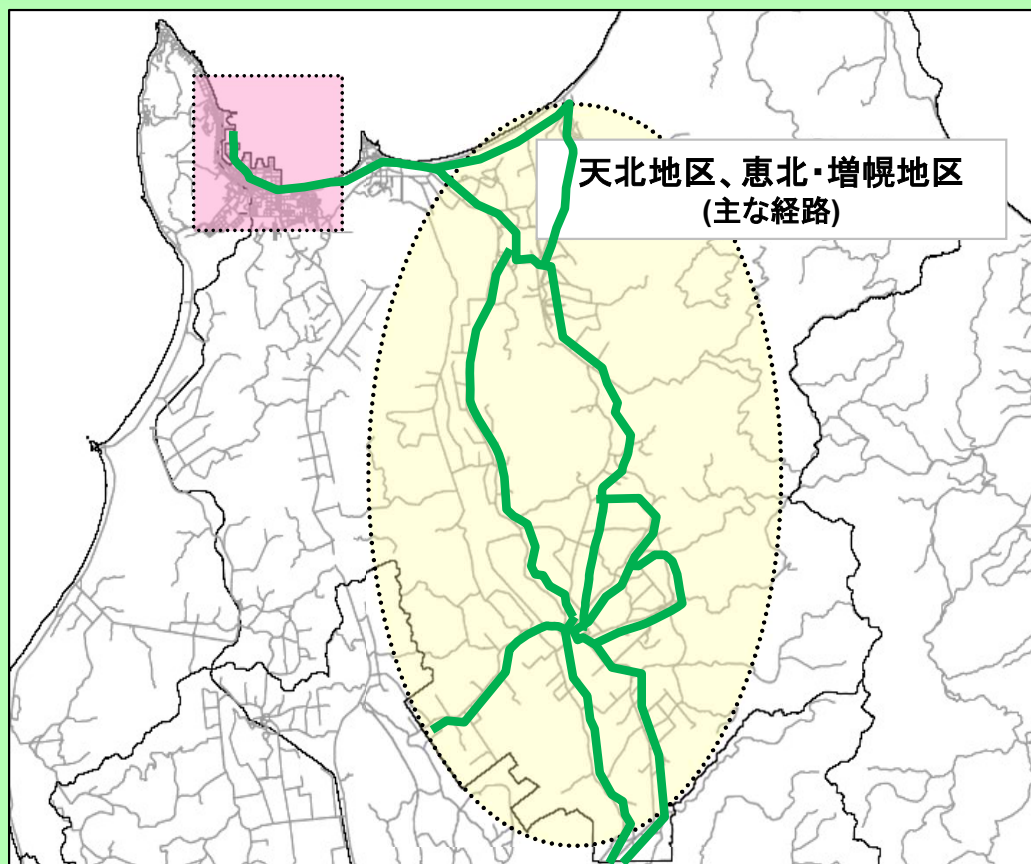
【プロセス】

- ・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年10月から本格運行となる。
- ・持続可能な交通ネットワークを確保を目指し、令和2年4月「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」の再編を実施した。

【創意工夫】

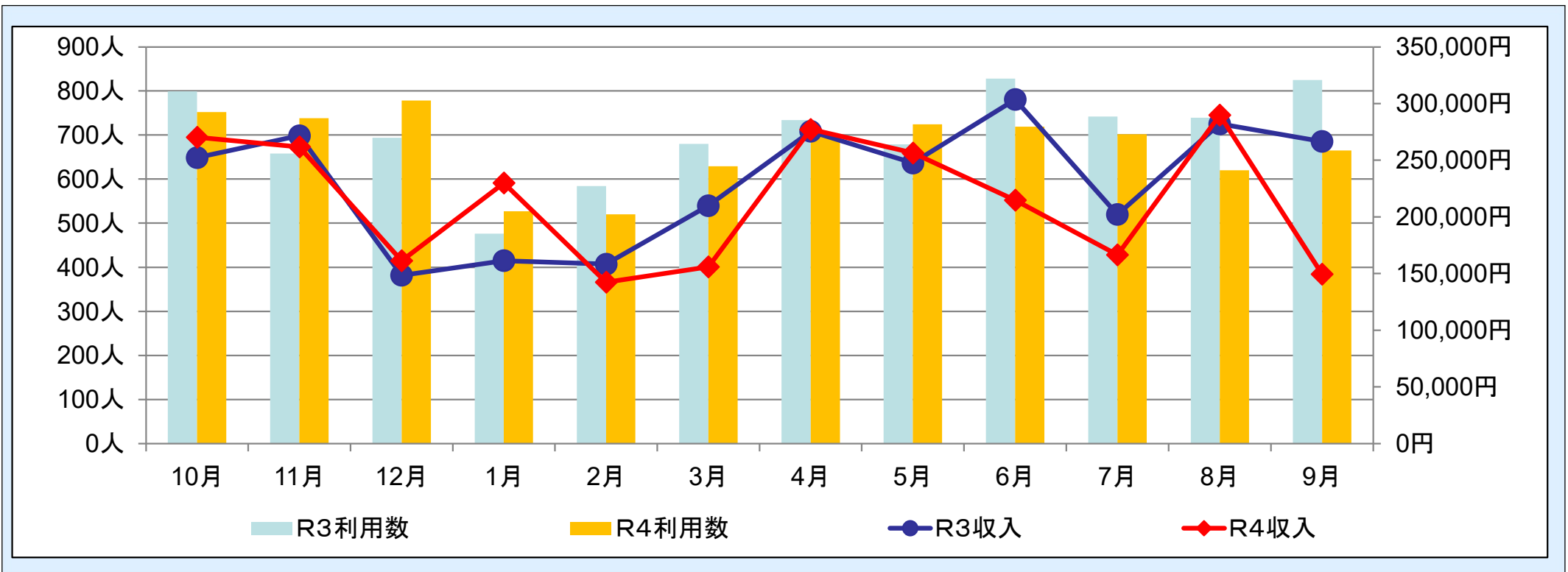
- ・利用者や運行地区の住民の声を拾い、要望を実現した場合のメリット・デメリットを整理し、実現性について検討を行った。

2) 運行系統



3) 利用実績

4) 収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R3利用者数	799	658	694	476	584	680	734	679	828	742	739	825	8,438
R4利用者数	752	738	778	527	520	629	702	724	719	702	620	665	8,076
R3運行収入	252,240	271,610	148,410	161,380	158,340	209,860	275,520	247,460	303,610	202,130	282,070	266,580	2,779,210
R4運行収入	270,270	261,770	161,290	229,930	142,550	155,950	277,220	256,430	214,740	166,550	289,780	149,500	2,575,980

5) 事業実施の適切性

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・事業は計画通り適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

・総利用者数は前年度に比べて年間で362人減少したが、一月平均は673人で、目標としていた一月平均630人は上回る事ができた。

・総利用者数の減少の内訳として、半額で利用できる子供が7人、100円で利用可能な高齢者が100人増えたことに対し、大人が469人減ったことにより、運賃収入が減少したことから、収支率は9.13%という結果となり、目標収支率の10.0%に達しなかった。

・通学・通院・通勤で利用する方が多数を占めており、地域住民の生活を支える交通インフラの役割を担っている。

7) 事業の今後の改善点

■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

本事業は、現在の利用者だけでなく、将来的に通学・通勤・通院などで公共交通を必要とする方のためにも持続させる必要がある。

そのためには、地域住民の利用者を確保し、一定の採算性を保つことが最も重要であることから、新たな利用者を確保しつつ、既に利用している方の利用頻度が増えるよう行政機関・交通事業者・地域住民が協働して、より利用しやすい運行形態の構築に向けて検討を進めていく。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄